

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	越境大気汚染対策推進費	事業開始年度	平成14年度	作成責任者		
担当部局庁	地球環境局	担当課室	環境保全対策課	課長代行 江口博行		
会計区分	一般会計	上位政策	地球環境の保全			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	越境大気汚染・酸性雨モニタリング(大気、土壌植生、陸水)を継続的に実施することにより、酸性沈着量の時間的空間的变化や生態系への影響について定常的な監視を継続するとともに、影響の早期把握、原因物質の長距離輸送機構、長期トレンド等を把握するために必要な長期間のデータを収集蓄積し、越境大気汚染・酸性雨による環境影響の防止に寄与する。 また、我が国への黄砂飛来状況の評価・解析、日中韓三カ国での共同研究などにより、黄砂被害の影響緩和を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>◆越境大気汚染・酸性雨モニタリング関連 ①越境大気汚染・酸性雨対策検討会の設置・運営、②酸性雨測定網整備運営、③生態影響モニタリングの実施、④酸性雨国内モニタリングデータの収集・解析・評価・検証、⑤精度管理・精度保証プログラムの実施</p> <p>◆黄砂対策関連 ①黄砂問題検討会の設置・運営、②黄砂モニタリングネットワークの確立、③黄砂早期警報システムの構築・運用、④共同研究の実施</p>					
実施状況	<p>・越境大気汚染・酸性雨モニタリングによって、精度管理・精度保証が行われたるデータ(大気モニタリング:27カ所、土壌・植生モニタリング:18カ所、陸水モニタリング:11カ所)を適切に取得し、検討会において解析・評価・検証を行っている。</p> <p>・黄砂対策関連では、これまでに国内5地点にライダー機器(黄砂と黄砂以外の粒子状物質を区別し、リアルタイムで黄砂を観測できる装置。)を設置するとともに、国内外の研究機関と連携し、黄砂モニタリングネットワーク(17地点、日本・韓国・中国・モンゴル)が整備されている。その結果、我が国に飛来する黄砂について、粒径分布や化学的性質等の知見が得られつつある。さらに、日中韓三カ国大臣会合での枠組みのもと、共同研究が平成21年より本格的に開始している。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	259	271	289	306	333
	執行額	253	249	256		
	執行率	97%	92%	89%		
	総事業費(執行ベース)	253	249	256		
自己点検	支出先・ 使途の把握 水準・状況	事業目的の実現及び効果発揮の観点から、適時、請負業者との打合せや連絡調整を行うとともに、環境省職員が検討会等に出席しており(黄砂共同研究は日中韓三カ国環境大臣の関与のもと推進)、使途把握及び事業成果は十分な水準となっている。 また、委託事業の適度な執行・実施を図るため、適時、委託先地方公共団体への説明会、連絡調整、調査結果ヒアリングを行っており、使途把握及び事業成果は十分な水準となっている。				
	見直しの 余地	検討会における、モニタリング体制や調査内容等の検討を踏まえ、効率的かつ効果的なモニタリングを実施する。 越境大気汚染・酸性雨モニタリング関連では、事業内容を合理化・集約化し、外注の見直しを含む効率的なモニタリング等を実施する。 黄砂対策関連では、引き続き、競争性のある契約を実施するとともに、事業の進捗状況を随時把握し、効率的な事業展開を図る。 また、クリーンアジア実現のための東アジア大気汚染防止戦略検討調査費及び酸性雨調査研究費との予算統合を目指す。				
予算 チームの 監視・ 効率 率	抜本的改善 (事業内容を合理化、集約化するとともに、越境大気汚染対策に係る他事業と整理統合し、より効率的な事業実施に努めるべき。)					
補 記						

環境省  
256百万円

- ・酸性雨モニタリング関連  
①越境大気汚染・酸性雨対策検討会の設置・運営、②酸性雨測定網整備運営、③生態影響モニタリングの実施、④酸性雨国内モニタリングデータの収集・解析・評価・検証、⑤精度管理・精度保証プログラムの実施
- ・黄砂対策関連  
①黄砂問題検討会の設置・運営、②黄砂モニタリングネットワークの確立、③黄砂早期警報システムの構築・運用、④共同研究の実施

【随意契約・請負】

A. (財)日本環境衛生センター  
67百万円

- 【業務内容】
- ・国内酸性雨測定所等における精度保証・精度管理調査業務
- ・国内酸性雨測定所等の運営支援及びモニタリング実施業務

【随意契約・請負】

B. 民間企業等(4事業者)  
6百万円

- 【業務内容】
- ・システム保守業務
- ・システム改修業務
- ・サーバ等賃貸借・保守管理業務
- ・システムネットワーク維持管理業務

【請負】

C. 民間企業等(8事業者)  
5百万円

- 【業務内容】
- ・解体撤去工事業務
- ・機器移設業務

【請負】

D. 民間企業等(37事業者)  
36百万円

- 【業務内容】
- ・測定機器の設置業務
- ・測定機器等の修繕業務
- ・測定機器オーバーホール等業務

【一般競争入札・請負】

E. 民間企業等(4事業者)  
15百万円

- 【業務内容】
- ・黄砂問題調査検討業務
- ・日中韓三カ国黄砂共同研究支援業務
- ・黄砂飛来情報ページ修正業務

【請負】

F. 民間企業等(4事業者)  
11百万円

- 【業務内容】
- ・黄砂捕集試料分析業務
- ・黄砂観測装置点検・維持管理業務

【委託契約】

G. 地方公共団体  
(51事業者)  
112百万円

- 【業務内容】
- ・酸性雨測定所管理運営業務

※酸性雨測定所関係

- ・土地建物借料:1,462千円、・各所修繕:68千円

※検討会(環境省直接開催)

- ・謝金:529千円、・委員旅費:252千円、・会議費:19千円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)日本環境衛生センター			E.(社)海外環境協力センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	酸性雨モニタリング支援経費	67	雑役務費	黄砂問題調査検討経費	13
計		67	計		13
B.富士通エフ・アイ・ピー(株)			F.(株)島津テクノリサーチ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	酸性雨測定網監視システム維持管理経費	2.7	雑役務費	黄砂試料分析経費	9
計		2.7	計		9
C.(株)小笠原計器製作所			G.新潟県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	廃止酸性雨測定所の測定機器移設等経費	1	委託費	測定機器保守管理経費	13
			需用費	分析消耗品費等	4
			その他	旅費、賃金、通信運搬費	2
計		1	計		19
D.(株)小笠原計器製作所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	酸性雨測定機器オーバーホール経費	15			
計		15	計		0